

会 議 録

会議名	第 1 回 山陽小野田市行政委員会報酬審議会
会議日時	平成 25 年 11 月 21 日（木）15 時～17 時
開催場所	市役所 3 階 議会会議室 2
出席者	塩田賢二委員、田中俊朗委員、中務敏文委員、西村節子委員、 林 絹江委員、前田良一委員、松枝志保子委員
欠席者	伊藤博夫委員、河口軍紀委員、川本博國委員
事務局	市長 白井博文、人事課長 小野 信、人事課主幹 大谷剛士、 人事課係長 古谷雅俊
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 辞令交付 2 市長あいさつ 3 委員の紹介 4 会長の選出 5 諮問 6 議事 <p>(1) 選挙管理委員会の委員、監査委員、公平委員会の委員、農業委員会の委員及び教育委員会の委員の報酬の額について</p>
会議内容	<p>○事務局から山陽小野田市行政委員会委員報酬等審議会に関する規則第 3 条第 1 項の規定により会議が成立することを報告。</p> <p>○委員からの推薦等がなかったため、事務局一任により、前田委員を会長に選任。</p> <p>議事</p> <p>【委員】 議題について事務局の説明をお願いしたい。</p> <p>【事務局】 行政委員会の委員報酬の額について、配付した資料に従い説明（事務局案も含む）。</p> <p>【委員】 事務局の説明について質問があればお願いしたい。</p> <p>【委員】 この審議会はだいたい何回ぐらいを事務局としては、想定しているか。</p>

【事務局】

こちらから何回と具体的な回数を言うのは難しいが、行政委員会報酬審議会は今回が初めてであり、参考として、特別職報酬審議会が、過去に開かれており、通常2回で決定して答申を出している。必ず2回というわけではないが、3月に議案を上程するため、事務局としては、年内に答申までいければと考えている。

【委員】

資料にある各委員会の回数は人事課で各課に質問されてまとめたものか。

【事務局】

決算書等の資料で確認しているが、決算書に載らない部分の活動もあるため、この回数より多いこともありうる。

【委員】

現在は全ての委員会で報酬を月額で払っているが、事務局案では委員会によっては日額に変更したいというものがあった。事前に届いた書類を他市も含めて確認したが、まだ理解できていないところがあるため、大事な報酬を決める会であり、何回かこの審議会を開催していただきたい。

【委員】

合併して今回はじめて行政委員会報酬審議会が開催されたとのことだが、今回決定したことは、今後何年間に及ぶ予定なのか。

【委員】

今後は、特別職報酬審議会と併せて2年に1回開催する予定である。

【委員】

合併して8年間開催していないということか。

【事務局】

行政委員会報酬審議会規則が制定されたのが、平成23年10月19日であり、それまでなかったため、開催していなかったと思われる。2年前は開催予定であったが、諸事情により開催しなかった。

【委員】

資料に実情を日額で換算しているが、どういうふうに算出したのか。

【事務局】

月額に12をかけて、1年当たりの平均的な出席回数で割って算出した。

【委員】

他市で公平委員会の報酬がないところがあるがなぜか

【事務局】

近隣の町と組合を作り共同で公平委員会を持っているところで、単独では公平委員会を持っていないためである。報酬としての支払いはないが、負担金等を組合に支払っているものと思われる。

【委員】

市が財政難であり、このような審議会の委員報酬も5,300円から1,000円に減額されているが、個人的にはこの会は1,000円のままで良いと思う。自分たちの会の報酬を高くして、他の会の報酬を下げるのは理にかなわない。また、委員に選ばれたことが光栄であり、必要以上に報酬を出すのはよくないと思う。そういう考えを持った人のみに委員をしても良かった方が良くないのではないか。報酬が少ないという人には辞めてもらった方が良くないか。

【委員】

半日やっても、1時間やっても同じ金額を払っているというのは、おかしいのではないか。1時間の場合の報酬額、半日の場合の報酬額、1日の場合の報酬額をきめ細かく決めるべきではないか。事務局は各委員会の活動時間、内容をわかっているのか。

【事務局】

通常、委員会が丸一日あるということはない。長くて半日、通常は2～3時間が多い。各対象の委員会でどういう活動状況かは聞いていない。各委員会の活動状況等を再度確認して、委員の皆さんにお示ししたい。

【委員】

公平委員会は必ず毎月開かなければいけないのか。

【事務局】

毎月、開かなければいけないというわけではないが、案件がなくても、勉強会を1ヶ月に1回、半日程度している。

【委員】

それは、おかしいと思う。勉強会は自己研鑽の場であり、公平委員会委員は見識のある人がなっており、わざわざ月に一度市役所で勉強するというのはおかしいと思う。

【事務局】

日額制を提案しているのは、月に1回開催で月額はおかしいのではないかとということで、現実に即したものになるよう提案した。監査委員は、9時～15時くらいまでおられ、回数も多いことから月額制が良いと思われる。

【委員】

識見者監査委員の報酬が高いのはなぜか。

【事務局】

小野田市の時から額を変更していないため、高いのではないかとと思われる。

【委員】

合併する前から様々な審議会、委員会に出席したが、以前は今より報酬が高かった。合併してだいぶ下がった。以前はもらいすぎだったのかなと思う。それでも、現状の1,000円の報酬すら受け取らない人もおられる。

【事務局】

労力はボランティアとしても、交通費を含めた諸費用として1,000円でお願している。答申する内容ではないが、今日の審議会等の委員報酬1,000円が高いか安いのかも含めて。参考意見としてお聞きしたい。

【委員】

現状の1,000円で良いのではないか。

【委員】

選挙管理委員会に以前質問した時、あまり答えられなかった。選挙の際の投票所の立会人の報酬はいくらか。

【委員】

投票立会人は10,700円であり、国会議員の選挙に関する法律に準じてやっている。長時間であり、丸1日の業務である。

【委員】

監査委員は月額が妥当だと思うが、他の委員は日額が妥当ではないか。

【事務局】

教育委員は非常に忙しく、月1回の定例委員会の他に、臨時委員会、また、各学校の入学式、卒業式、運動会に出席したり、その他にも随時学校訪問をされ、1日全ているというわけではないが、回数は多い。

【委員】

私も以前、出席したことがあるが、全ての会が必要であるとは思わなかった。回数を減らす等無駄も省いて欲しい。

【委員】

農業委員会で、農地の転用の許可等を決定するのか。既に、現場で決まっているのではないか。

【事務局】

農業委員会で決定している。また、他の委員会は市長が任命しているが、農業委員会は選挙で決まっており、他の委員会とは違うところもある。回数も教育委員会、農業委員会等のように、法律で月に1回開かなければいけないなど決まっているものもある。

【委員】

教育委員会は、この1、2年は確かに忙しいだろうが、この忙しさが今後も続くかも含めて検討しなければいけないのではないか。今後も忙しいのであれば、日額にして、月額の場合より高くなっても良いのではないか。忙しくない時は、少ない報酬になることも考えられるので検討には値すると思う。

【委員】

委員会ごとに日額を決めるのは難しいのではないか。

【事務局】

各委員会で優劣をつけるのは難しいため、個人的な意見ではあるが、委員長、委員は全ての委員会を同額にして良いと思われる。日額は、1日当たりいくらで、半日の場合はその額の半分など、そういう形で検討していただければと思う。

【委員】

1日10,000円で委員長は2割増で良いのではないか。

【事務局】

他市の状況も判断材料になると思われる。市によって業務内容がそれほど違うわけではないため。

【委員】

それは、あまり考慮する必要はないのではないか。民間であれば黒字の時には、お金を出し、そうでない時は支出を抑える。山陽小野田市の財政状況は決して良いとは言えず、無駄な支出を省くべきである。他市の状況を見て参考にするなら、検討する必要もないのではないか。

【事務局】

まず本来の報酬額を決めて、その後で市の財政状況を見てカット率を決めるという方法が良いのではないかと考える。委員の仕事が各市によってそれほど差があるわけではないと思われる。現在の財政状況だけで額を決めてしまうと毎回本来額が変わることになるため、それよりもカット率によって支給額を調整した方が良いのではないか。

【委員】

他市を参考にするのであれば、現在の月額を日額に変更するというところで議論する場合、他市で日額に換算するとどれくらいになるかが分かった方が比較しやすい。そういった資料は作成できないか。

【事務局】

定例の委員会のみであれば、作成できると思うが、臨時の委員会やその他の活動全てを把握するのは難しいと思われるので実態に即したものをつくるのは難しいと思われる。

【委員】

各市の委員会の仕事は同じだから同じ額でとういのはおかしいと思う。100万以上の人口の市の部長と、2、3000人程度の町の部長の職務内容職責が同じでないように、委員の仕事も差があると思われる。市町の規模により職務内容・職責等違いがあるのだから、全て横並びとういのはおかしいのではないか。

【事務局】

他市を参考にする場合は、人口規模が近い類似団体が参考になると思われる。県内でいえば、光市や下松市がそれにあたる。

【委員】

その2市と比べると、全て高い。ただ、他市と比較して決めるなら議論する必要がないのでは。事務局で案を決めて承認するだけで良いのではないか。

【事務局】

他市と比べるとというのはあくまで参考意見の1つである。実際には、他市と比べる必要がないということであれば、それで答申を出していただきたい。率直な意見を述べて決めていただきたい。

【委員】

他の委員さんで他に意見はないか。

【委員】

特に、新しい意見ではないが、事前に資料を読んだときから1年に12、13回程度の開催であれば日額にした方が良いのではないかと思いました。

【委員】

私も選挙管理委員会、公平委員、農業委員会は日額で、金額はまた次回検討していけば良いと思う。

【委員】

私も選挙管理委員会、公平委員、農業委員会は日額を検討した方が良いと思う。監査委員、教育委員会は月額のままが良い。

【委員】

宇部市は、農業委員会が月額でそれ以外が日額ですね。

【事務局】

宇部市は農業相談等の業務が多く、選挙で選ばれたこともあり、月額の方が良いと判断されているのだと思われる。

【委員】

私も農業委員会は、現行の月額が良いと思う。

【委員】

そういったことはまずないと思うが、日額にすると月額の時より委員会の回数が増える可能性もゼロではない

【委員】

本日の会議における委員の意見を集約すると監査委員、農業委員会の委員、教育委員会の委員はこれまでどおり月額のまま、選挙管理委員会の委員と公平委員会の委員は月額にするというのが全体の意見になったと思う。事務局は今の意見を集約して、次回の審議会までに案を作成していただきたい。また、委員は各自で持ち帰ってよく考えていただき、次回、また協議したい。本日はこれで終了します。次回の開催は、12月5日（木）の15時30分からです。